

未来の赤ちゃんを守るために



# 風しんの予防接種を 受けましょう！！



今回の風しん抗体検査の結果、あなたは、風しん抗体（免疫）を保有していないか、あるいは、感染予防に十分な抗体（免疫）が足りていないことが分かりました。

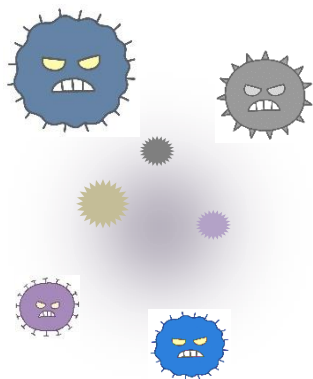
風しんに感染しないためには、**予防接種が必要**となります。予防接種を希望される場合は、検査を受けた医療機関にご相談ください。ただし、予防接種法に基づかない任意の接種**（有料）**になります。



## 風しんとは？

風しんは、風しんウイルスが原因でおこる発疹を伴う感染症です。主な症状は、発疹、発熱、耳の後ろのリンパ節の腫れです。

風しんに対する抗体が低い女性が妊娠中（特に妊娠20週頃まで）風しんに感染すると、生まれてくる赤ちゃんに、難聴、心臓に異常がある、目が見えにくくなる、精神や身体の発達に遅れが生じる等の障がいが出る可能性があります。そのため、妊娠・出産を考えている女性又はそのご家族は、事前の風しん予防が大切です。



## 予防接種が必要な方

風しんにかかったことがない・予防接種を受けたことがない方は、接種をご検討ください。予防接種は、麻しんも予防できる混合(MR)ワクチンを受けることをお勧めしております。

### 妊娠前の女性



接種後2か月間は避妊が必要です。妊娠中の接種はできません。

### 妊娠中の女性の家族



1歳児、小学校入学前1年間の小児はMRワクチンの定期接種が受けられます。

### 成人男性



風しんにかかったことがない方、風しんワクチンを受けていない方、いずれも不明な方。

# 風しん予防接種



**Q** 予防接種はどこで受けることができますか？費用は？

**A** 医療機関（内科や小児科）で受けることができ、7,000円～10,000円前後の費用がかかります。

予防接種は、医療機関で接種を受けることが可能です。接種希望の際は、必ず事前にお問い合わせください。



予防接種には、風しん単独ワクチンと麻疹風しん混合ワクチン(MR混合ワクチン)があります。麻疹(はしか)に対する抗体が低い方も多いため、風しんの予防接種を受ける際は、風しんと麻疹(はしか)が混合されたMRワクチンでがおすすめです。その場合、7,000円～10,000円前後の費用がかかります。

**Q** 予防接種1回受けたから大丈夫？

**A** 生涯で2回接種した方が良いと言われています。

予防接種を受けた方のほとんどが風しんへの免疫を獲得します。

しかし、1回の接種では約5%の方が免疫がつきにくいといわれています。

これらの方でも2回目の接種を受けることで免疫を獲得できる場合がほとんどです。

また、1回の接種で抗体がついた方でも、10年ほどで抗体が低下し、風しんにかかってしまう例がみられます。

生涯のうち、2回接種することが大事です。



## お問い合わせ

沖縄県 地域保健課 098-866-2215 那覇市保健所 保健総務課 098-853-7971

**Q** 予防接種を受けるうえでの注意点は？

**A** 女性は、妊娠している可能性がある場合、接種できません。

風しんワクチンは、妊娠中の女性は接種できません。妊娠中の女性が風しんワクチンを接種したために赤ちゃんに障がいが出たという報告はありませんが、**接種後は2ヶ月間の避妊が必要**です。

風しんワクチン接種後に妊娠が判明した場合、妊娠中断の必要はないと考えられていますが、念のためかかりつけの産婦人科にご相談ください。

なお、男性のワクチン接種による赤ちゃんへの影響は心配ありません。

**Q** 子供の定期接種の期間が過ぎると無料で予防接種は受けられない？

**A** お住まいの市町村にお問い合わせください。

MR1期の定期接種を受けられる期間は、1歳から2歳まで、MR2期は小学校就学前の1年間とされていますが、お住まいの市町村によっては、上記期間外でも行政措置で無料でMR予防接種を受けることが可能です。お子さんの母子手帳を確認して、風しんの予防接種を2回受けてなければ、お住まいの市町村にご確認ください。

**Q** 風疹ワクチンの安全性は？

**A** 非常に安全なワクチンです。

風疹ワクチンは、副作用反応の少ない非常に安全なワクチンのひとつです。医師とよく相談し、納得した上で接種してください。

主な副作用としては、発疹、紅斑、発熱、リンパ節の腫れ、関節痛などが見られます。重大な副反応としては、まれにショック、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病などがあります。